

バレーボール

特性や成り立ち

- バレーボールは (ネット) 型の球技であり、コート上でネットを挟んで向かい合い、(ボール) を相手のコートに返球し、一定の (得点) に早く至り達することを競い合う運動である。
- バレーボールでは、コート内の (床面) にボールを落とさないようにしながら返球をするが、自分のコート内で (3) 回までボールに触れることができる。
- バレーボールは、当初は両チーム同人数であれば何人でもよかったが、現在では国際的に行われている (6) 人制と、東洋で発達した (9) 人制とがある。

ルールの整理と確認

- 通常の試合では、1セット (2) 回、(30) 秒のタイムアウトが取れる。
- メンバーチェンジは、1セットで (6) 回までできる。
- サービスを打つ前は、6人のポジションが決まっている。違うポジションにいと、(ポジショナルフォルト (アウトオブポジション)) の反則となる。
- サービス権の有る無しにかかわらず、味方の攻撃が成功した場合、または相手側にミスや反則があった場合に 1点の得点が得られる。このルールを (ラリーポイント) 制という。
- 1セット (25) 点先取したチームが勝者となる。ただし、(24) 対 (24) の場合は「(デュース)」となり、(2) 点勝ち越したチームが勝者となる。